



土曜学習「わかまち 多治見大好き講座」 参加してみて考えたよ！

第2期 多治見陶磁器探検隊①
～美濃焼名人になろう～(6/7)

I. 受講生より

1. 参加して新しく発見したことは何ですか？

- ・石のお皿と陶器の区別の仕方。石のお皿は、はじくとキーンという音が鳴って陶器はカンという音が鳴る。(小3)



- ・粘土がぬるぬるして気持ちよかった。(小1)
- ・いろんな陶器があって、全部違う模様で、陶器のことが好きになった。(小3)

- ・お皿やコップなどの陶器に、たくさんの種類があることがわかった。同じ陶器でも形や模様が全く違っていた。さらに、陶器ごとに名前があり、すごく驚いた。(中1)
- ・陶器の種類や茶碗を観て、その作者さんが作った時の気持ちが伝わってきたこと。(小5)
- ・電気とガスの焼き方があることが分かった。釉薬の種類によって焼き上がりが変わることが分かった。(小6)

2. 50年後の多治見はどうなっている？

- ・今よりもっと建物にタイルが使われている。(小3)
- ・焼き物を作る人の数が減ってしまいそうだけど、それ以上に今より人気がなっていると思う。(小6)
- ・初めての人でも、簡単に作れるようなくろになっていて、機械も新しくなっていて楽に作れるようになっている。(小5)
- ・今と同じで土曜学習のように、子ども向けの講座がもっと増えて多治見の陶磁器がどんどん広がっていくと思う。(小4)
- ・美濃焼を創る人や使う人が今よりも増えている。この仕事をする人も増えて施設がもっと増えている。(小6)



3. 未来の自分へ励ましのメッセージを送ろう！

- ・いろんな形的美濃焼を作りたい。そのためにいろいろな事を勉強していろいろなやり方を学べるといいな。(小6)
- ・陶器屋さんをやってみたい。そのために陶器の種類を覚えよう！(小3)



- ・この講座に参加してよかったと、今とても思う。参加する前は、将来の夢などまだ全然決まっていなかったけれど、この講座に参加して夢(陶芸家になりたい)が決まったから。ろくろのやり方を教えてくださったお兄さん、ありがとう。とても優しく教えてくださってうれしかった。(小4)。

4. 保護者より

- ・初めての参加でしたが、最初から安心して吸い込まれるように、会場に入っていました。一緒に応募した子と別々の班でしたが、体験したことそのものが嬉しかったようです。お抹茶やお菓子のこと、ろくろのこと、作った陶器のこと、とても生き生きと目を見開いて話してくれました。多治見の伝統と人の温かさに自然と触れたのだと感じ、私も嬉しく思いました。ありがとうございました。(小1保護者)

II. 中学生ボランティアより

1. 参加して新しく発見したことは何ですか？

- ・今まで抹茶の作法を学んだ事が無かったから、昔の日本人のお茶の楽しみ方を知ることができた。意匠研究所では、釉薬に銅を使っていても違う色になると聞いて、理科の授業でやった塩化銅の色と陶器の色が似ていると思った。(中3)

2. 50年後の多治見はどうなっている？

- ・いろいろな仕事が機械化される中でも、陶芸などの伝統は守られ、残っている。(中1)
- ・陶器や土曜学習が広がっている。(中3)
- ・タイルがいろいろな所で使われる。たくさん陶器が作られている。(中1)
- ・陶器やタイルでもっと有名になってほしい。(中3)

3. 未来の自分へ励ましのメッセージを送ろう！

- ・多治見を好きなままいてほしい。そのために、地域の魅力をたくさん見つけてほしい。(中3)
- ・今回作った物より難しそうな陶器を作りたい。そのためにどんな物が陶器で作られているか探してみたい。(中1)



4. 中学生ボランティアに参加して

- ・グループの子になつかれて、すごくかわいかった。(中2)
- ・バスの運転手さんにお礼を言ったり、トイレに行く時ちゃんと教えてくれたり、約束をちゃんと守ってくれたので次もそうしてもらえるように、指示を出したい。(中2)
- ・皆とても熱心で積極的で、ボランティアとして参加していてとても楽しかった。また次回のボランティアでも頑張りたい。(中2)